

業務改善助成金業種別事例集（製造業編）

業務改善助成金は、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援することで、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げを図るための制度です。
具体的な業種別の導入事例として、今回は「製造業」における生産性向上の設備投資の例をご紹介します。※業種は日本標準産業分類に基づく

調理器具類

【生産性向上の効果】

○導入前

手作業で食品を加工、計量、製造していたため、製品の出来具合にばらつきが生じていた。また、人員を多く割く必要があり、作業効率が悪かった。



○導入後

出来具合にばらつきがなくなり、作業時間を削減することができた。また、人員を削減することができ、他の業務に回すことが可能となったことで作業効率が向上した。

| 導入事例 | 事業内容 | 当助成金を利用した事業場数 |
|------------------------|------------|---------------|
| 原料充填機 (ケーキ生地、ジャムなど) | パン・菓子製造業 等 | 計5事業場 |
| 食材カッター 食材皮剥き機 | 冷凍調理食品製造業 | 計3事業場 |
| パン発酵機 | パン・菓子製造業 | 計2事業場 |

包装機

【生産性向上の効果】

○導入前

包装を手作業で行っていたため、製品の出来具合にばらつきがあり、作業時間が長くなっていた。また、一度に生産できる量も限られていたため、作業効率が悪かった。



○導入後

均一な仕上がりが実現し、一度に多くの量を生産することができるようになったことで、作業効率が向上した。

| 導入事例 | 事業内容 | 当助成金を利用した事業場数 |
|----------|-----------------|---------------|
| シュリンク包装機 | 印刷・同関連業 化学工業 | 計2事業場 |
| 菓子個包装機械 | パン・菓子製造業 | 1事業場 |

冷凍・冷蔵庫類

【生産性向上の効果】

○導入前

既存の設備では十分な冷凍が行えず、食材や製品の状態によって処理作業が生じていた。



○導入後

十分な冷凍が行えるため、保存中の食材や製品の品質が改善され、処理作業が軽減され作業効率が向上した。

| 導入事例 | 事業内容 | 当助成金を利用した事業場数 |
|-------|--------------------|---------------|
| 冷凍庫 | 食料品製造業 水産食料品製造業 | 計3事業場 |
| 冷凍冷蔵庫 | パン・菓子製造業 | 1事業場 |

その他

| 導入事例 | 事業内容 | 当助成金を利用した事業場数 |
|--------------------------------------|--------------------------|---------------|
| 経理システム 工程管理システム 生産管理システム 等 | 外衣・シャツ製造業 金属製品製造業 等 | 計22事業場 |
| フォークリフト 特種用途自動車類 (それに準ずるもの含む。) | 豆腐・油揚製造業 はん用機械器具製造業 等 | 計4事業場 |
| 改修等による レイアウト変更 | 繊維工業 電子部品製造業 | 計4事業場 |
| ベルトコンベア | プラスチック製品製造業 製茶業 等 | 計3事業場 |
| ミシン | 繊維製品製造業 等 | 計3事業場 |

申請先

申請する事業場が所在する都道府県労働局雇用環境・均等部（室）にお尋ねください。